

# 郵政ユニオン長崎中郵支部 第14回定期大会を開催

## 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙・「みらい」  
NO. 4588  
25年10月17日(金)  
Tel・Fax 095-828-1953  
文責 支部書記長

おはようございます。  
10月11日、郵政ユニオン長崎中央郵便局支部は第14回の定期大会を開催しました。

開会の挨拶で、山田支部長は「今年4月に発覚した不適切点呼問題に関しては連日、テレビや新聞などのマスコミに報道され、法令を遵守しないブラックな職場のイメージが定着しました。今このころ長崎中央郵便局では混乱はありませんが、油断はできないと思います。今後情報もわかれば機関紙未来に掲載していく予定です。」と述べました。

来賓には、長崎地区労加世田書記長、長崎県労連馬場県労連事務局次長、九州労働金庫長崎支店渡辺支店長（敬称略）が出席され、お祝いと激励のお言葉をいただきました。

特に、最低賃金改善に向けた取り組みや、機関紙を通じた情報発信に評価をいただきました。



また、諫早総合法律事務所中川弁護士から「最近、郵便局の労働者からの法律相談はめっきりなくなりましたが、それは、日頃の皆様の地道な活動の成果だと思っています。このまま法廷闘争や労働委員会闘争がないことを願いますが、必要になればいつでも声を掛けて下さい。」と激励のメッセージをいただきました。



大会の議長には佐田執行委員、資格審査には前田執行員をそれぞれ選出し、議事へと移りました。  
2024年度の活動報告、2025年度の活動方針を向井書記長が提案し、2024年度の会計報告、2025年度の財政方針の提案を海江田執行委員が提案しました。

その後の質疑応答では、出席者から様々な意見が出ました。

○勤務指定で日曜出勤者は配休対応になっていないが、通配者のミーティングで周知がなかった。  
次の勤務指定では土曜日の出勤者を1人減らす可能性があると聞いた。適正な要員配置を求める。

○原付の最大積載重量が30キロなので、往復が必要となる事があり時間がかかるため、超勤になっても良いと管理者から周知をして欲しい。また、免許があっても110ccバイクが足りないのが増やして欲しい。

○何か問題が起こる度にルールを作るが、その

長崎中央郵便局支部 2025年度 支部役員		
役職	氏名	職場
支部長	山田武明	第3集配営業部
副支部長	佐田 剛	第3集配営業部
書記長	向井 宏	第2集配営業部
執行委員	海江田弘子	第1集配営業部
〃	濱崎直樹	第3集配営業部
〃	原田芳博	第3集配営業部
〃	前田節二	第3集配営業部
青年女性部長	黒田彩加	第1集配営業部
会計監査	山内みどり	窓口営業部

場しのぎになっていないのでは…。課長も覚えていないことも有り、不信に思う。

OBの方々からも温かい言葉をいただき、これからも組合員で協力して組織拡大に努め、職場環境を改善してほしいと教えられるました。執行部答弁では職場の問題点に関しては、声を上げていく事が大切で、困りごとが

あれば執行委員に相談してほしいと訴えました。  
25年度の役員体制も決まり、これから一年間より良い職場環境を目指し、決して仲間を孤立させない活動を行っていきます。



期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。  
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎のホームページはこちら

